

小金井市行財政改革市民会議 第3回市役所改革部会 議事録		日 時	平成29年1月13日(金) 18時00分～20時00分	場 所	本庁舎 第2会議室
出席者	部 会 員 : 八木委員(部会長)、藤田委員、曾我部委員、波多野委員 事 務 局 : 堤行政経営担当課長、兼堀主事				
欠席者	なし				
議 題	1 第8期行財政改革市民会議答申の概要について (1) 構 成 (2) 項 目 (3) 表 現 (4) その他 2 その他				
配付資料	資料1 第8期行財政改革市民会議答申の概要(素案) 資料2 経済・財政一体改革の推進に向けた地方行財政改革の取組について 資料3 地方行政サービス改革の取組状況等(平成27年4月1日現在)				
(配布資料について、事務局から説明を行った。)					
1 第8期行財政改革市民会議答申の概要について					
○資料1の位置づけ					
<ul style="list-style-type: none"> ● 会長による最終答申についての、構成・内容のたたき台である。作業部会での議論に基づいて修正し、1月24日の市民会議に向けて、市民目線で文章化していく。答申は市長に手渡すものだが、その先にいる市民・議員・職員に向けて書くことが大事だ。遠慮なくご意見をいただきたい。 					
○全体として					
<ul style="list-style-type: none"> ● 内容は網羅的でいいが、構成が複雑。シンプルにならないか。 ● 率直に言うと硬い。大項目で読む気にさせないといけない。いい表現はないか。後半とリンクすることも大事だ。 ● たとえば、1の項目名を「ご存じですか?小金井市のこと」ではどうか。20年の中で職員数を削減した。しかし、目標は達成していない。その原因は、評価の仕方等と、成果と課題とその原因について簡潔に記すべきである。 ● 行革について市民が知らないのは、見せてこなかった行政、知らせてこなかった市議会、知ろうとしなかった市民の問題があるためだ。行革が進まない理由は、困難な課題を先送りしてきた行政、問題点を指摘するばかりの市議会・市民というようになる。 ● 現状を見せた上で、今後の新たな方向性を語るのはとてもわかりやすい流れだと思う。 ● 本文、概要版、パンフレットが必要である。概要版はA3表裏印刷でA4が4頁、パンフレットはA4表裏でいい。答申にも概要版が必要である。駅前でもパンフレットを配布する等、告知をしっかりとっていく必要である。 ● 市報では、10行程度で10の取組のキーワードを載せる。詳しくはHPでとすればいい。 ● 印刷は仕方ないが、HPに掲載するファイルは、カラーとし、文章にリンクを貼って見やすくするべきである。 ● 構成は1～3が長い。 ● まとめの部分で、行革の先にある明るい未来を書いてほしい。 					

○はじめに

- 最後の●のところ、行政当局及び市議会へは「強く要請したい」とし、そこにアンダーラインを引く。
- 現状があつて、なぜ審議を重ねたのかが書いてあるが、唐突感がある。
- 「はじめに」なので、これぐらいで良い。

○1 第1次～第3次行財政改革の成果と課題

- このようなタイトルでは読んでもらえない。読み手を意識し「1 ご存じですか？小金井市のこと」ではどうか。
- 20年の中で職員数を削減した。しかし、第3次行革大綱の目標数は達成していない。その原因は、評価の仕方等と、成果と課題とその原因について簡潔に記すべきである。。
- 行革について市民が知らないのは、見せてこなかった行政、知らせてこなかった市議会、知ろうとしなかった市民の問題がある。
- なぜ行革が進まなかったのか。困難な課題を先送りしてきた行政、問題点を指摘するばかりの市議会、市民というようになる。。
- 第3次行革大綱の未達成項目がなぜ26%なのかその理由は、PDCAが弱いから。行革に携わっていない。

○2 新たな行財政改革の必要性

- 第1次～第3次行革の必要性がどういう必要性のためか。
- トップランナー方式等は注意書きが必要である。
- タイトルは「どうなっているの？ 小金井市の財政」、「もっと行財政改革が必要です」など。
- なぜ行革が必要なのか？将来課題でお金が必要だから。また、今後、税収等は減ってくるから。
- 将来課題は箇条書きで。子育て環境日本一、駅周辺のまちづくりは夢があるので、他の課題と同じ括りにせず、書き分けるべき。
- 将来課題にかかる数字が必要である。
- 「このままでは学校は潰れてしまう」「病気になるようにしなくっちゃ」などの表現はどうか。

○3 新たな行財政改革の内容

- ここからが主題のため、字を大きくする。
- 現行の3を2つに分け、(1)～(3)を「3 新たな行財政改革の方向」とし、(4)以下を「4 新たな行財政改革の内容」とする。
- (2)③PDCAの抜本的強化は、答申の最後に持っていき、市民が関わらなければならないとするべき。

○3 (4)以下の部分について

- 文章が硬い。10個の取組も市民目線のフレーズで。例えば、取組②「使用料等の根拠をガラス張りに」ではどうか。
- 取組②「使用料等の根拠をガラス張りに」という表現は、とても良い。
- 取組②「公民館も何らかの見直しが必要である」と入れるべきだ。
- 取組⑥スモールミーティング、クロスファンクションチームは注意書きが必要である。
- 取組⑥「市民に巻き込む」ではなく「市民に対して」が良い。
- 取組⑥頑張っている行政に対して市民がサポーターとして関わられるようなニュアンスを込めた

い。

- 取組⑨第7期市民会議で答申されたにも関わらず。自ら動く、変える議員こそが真の議員だということを知りたい。
- 取組⑨自ら議会改革に向かっていく姿勢こそ、市民が期待している。
- 取組⑩第7期市民会議答申があるにも関わらず、市民の期待に反している。真摯に議会改革をすすめ、市民の期待に答えてほしい。
- 取組⑨と取組⑩を逆にすべきである。
- 資料編で市議会についての資料を載せるよう意見を付ける。

○連絡事項

- 最終答申についてのご意見は、メールでも良いので、1月18日を目途に事務局まで。